

君津まちづくりプロジェクト  
施設レビュー結果

# A 班

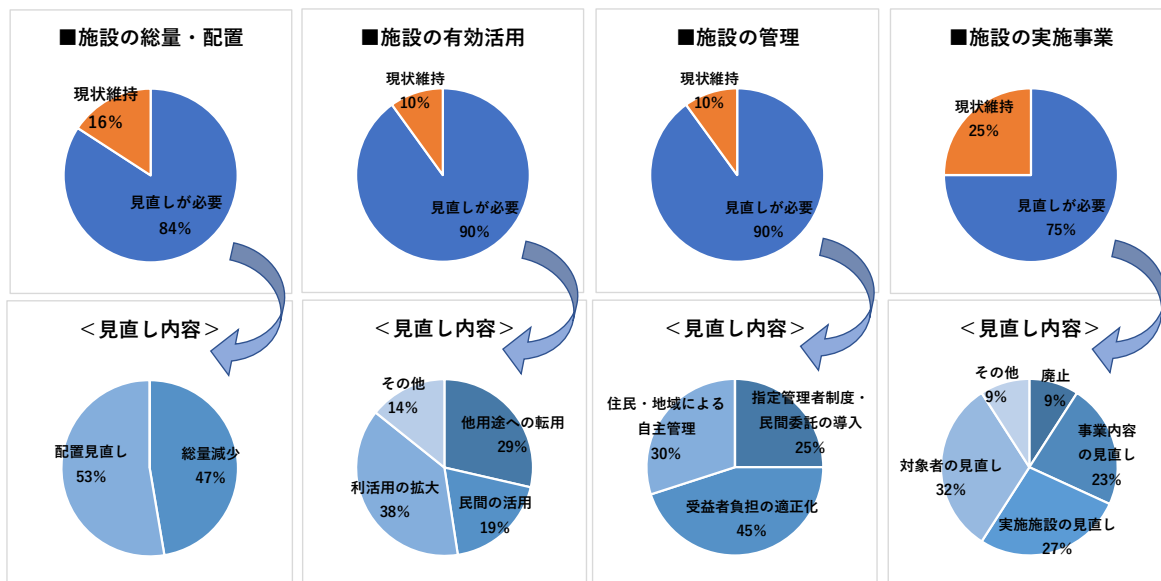
## ■A 班対象施設区分

| 施設区分名 |           | 施設数  | ページ数   |
|-------|-----------|------|--------|
| A1    | スポーツ・公園施設 | 13施設 | － 1 －  |
| A2    | 文化ホール     | 1施設  | － 5 －  |
| A3    | 資料館       | 2施設  | － 7 －  |
| A4    | 市営住宅      | 9施設  | － 9 －  |
| A5    | 産業・観光施設   | 13施設 | － 10 － |
| A6    | 保健・福祉施設   | 10施設 | － 14 － |

## ■施設区分毎レビュー結果

### ◇A1\_スポーツ・公園施設

プロジェクトメンバー及びオブザーバーが記入した評価シート集計結果は以下のとおりです。



また、自由記載欄に記入された意見は以下のとおりです。

1. 市民が日常的に利用できるスポーツ広場や公園だけでなく、市外県外利用者の多い観光側面を有した公園などが混在しているが、「現状と利用者ニーズ」をしっかりと把握・分析し、今後の見通しも踏まえた「目的とターゲットの明確化」が必要ではないか？

2. 利用者の少ない施設は廃止ないしは用途変更も含めて見直しを行うなど、今一度施設を整理した上で、総合的に管理の質を上げることが必要ではないか？
3. 全体的に経費が多くかかっている為、その削減に向けた検討はもとより、「収益を上げるための仕掛け」や「利用者を増やす為の仕掛け」づくりも併せて必要ではないか？
4. 「維持管理費」「市内利用者及び市外県外利用者など利用者の種別」「利用予約の有無」の視点で、改めて利用料金の見直しが必要ではないか？また、利用料金が免除となる基準の見直しも併せて必要ではないか？
5. 「予算都合」や「最低限維持」と印象付けられてしまうような指定管理者の選定でなく、「地元住民に関わってもらい興味を持ってもらうこと」や「地元住民の雇用創出」といった「まちづくり」の観点で選定することが望ましいのではないか？
6. スポーツ・公園施設の担当課が三課に跨っていることはおかしいのではないか？連携不足が見受けられる。但し、今回のレビューで担当課が揃ったことは有意義であった。
7. 利用予約は電話やFAXだけでなく、メールやインターネットを活用するなど、利用者視点での検討が必要ではないか？
8. 公共施設マップを作製の上、各公共施設に置くなど、「市民」がもっと施設を知れるような広報活動が必要ではないか？一方で、首都圏在住者をターゲットとしたPRも併せて必要ではないか？
9. 広場は災害時における一時避難所として活用できる。防災の視点も含めた検討が必要ではないか？
10. 個々の施設に関する意見

1. 市民が日常的に利用できるスポーツ広場や公園だけでなく、市外県外利用者の多い観光側面を有した公園などが混在しているが、「現状と利用者ニーズ」をしっかりと把握・分析し、今後の見通しも踏まえた「目的とターゲットの明確化」が必要ではないか？
  - ・現状把握と今後の見通しが必要ではないか（但し、市街地と山間部で状況は異なる。利用者「数」だけで分析は出来ない）。
  - ・利用者アンケートを実施した上で、分析・改善が必要。
  - ・各施設における目的の明確化（目的は「市民ニーズ」を基に。市民用、観光用で切り分けるなど）。
  - ・ターゲットの明確化（市民？市外県外の方？）。
2. 利用者の少ない施設は廃止ないしは用途変更も含めて見直しを行うなど、今一度施設を整理した上で、総合的に管理の質を上げることが必要ではないか？
  - ・利用者の少ない施設は廃止。

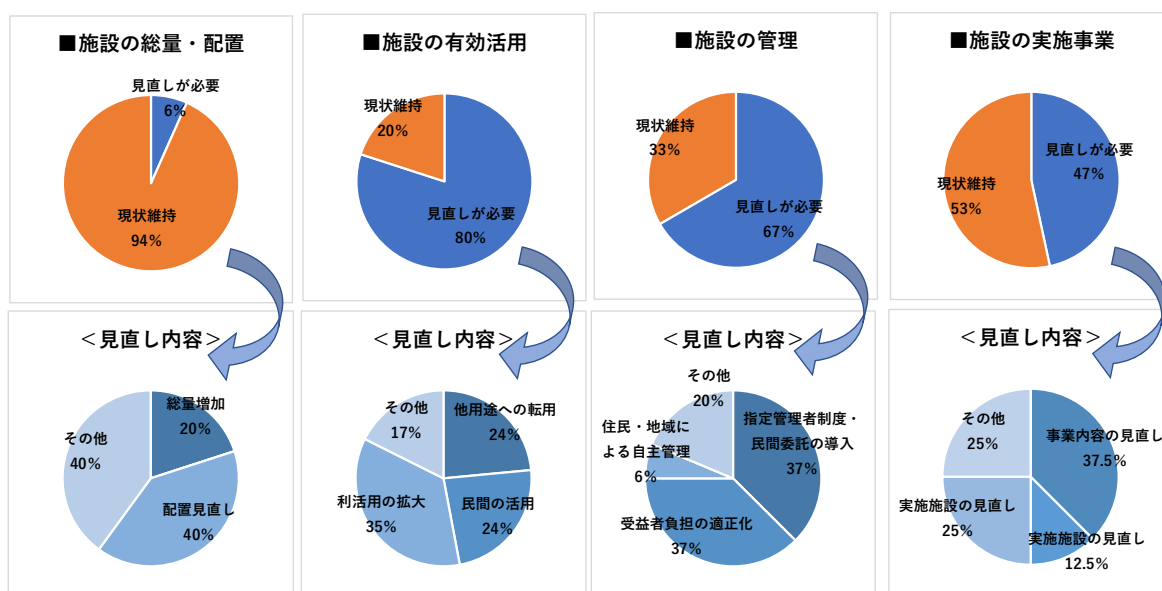
- ・施設を整理した上で、管理の質を上げる。
  - ・用途変更も含めた検討（「観光資源（キャンプ場など）にする」や「野球場をサッカー場にする」など）。
3. 全体的に経費が多くかかっている為、その削減に向けた検討はもとより、「収益を上げるための仕掛け」や「利用者を増やす為の仕掛け」づくりも併せて必要ではないか？
- ・全体的に経費削減。
  - ・飲食業の介入を緩和させ収益増を目指す（イベント時など）。
  - ・利用の多い施設は回数券を発行して割引制度を導入（利用者数を増やす）。
  - ・ワクワク感のある公園施設整備（利用者数を増やす）。
  - ・亀山湖畔公園のような観光公園やキャンプ場のトイレはどんどん改善。（トイレが汚いところに人は集まらない。有料トイレの導入も一案。パークコンセプションなどを含めて検討することもある。）
4. 「維持管理費」「市内利用者及び市外県外利用者など利用者の種別」「利用予約の有無」の視点で、改めて利用料金の見直しが必要ではないか？また、利用料金が免除となる基準の見直しも併せて必要ではないか？
- ・利用料に関する基本方針が必要（管理費に見合った利用料金設定）。
  - ・市外県外利用者の利用料金は高めに設定したい（外からの収益源【特にキャンプ場】）。
  - ・大人は利用料金徴収しても良いのでは？
  - ・予約が必要な施設は利用料を徴収した方が良い。
  - ・利用料金を免除とする理由の見直し（土日は有料でも利用されるのではないか？）。
  - ・直接管理の施設においても利用料を取る方法を検討すべき。
5. 「予算都合」や「最低限維持」と印象付けられてしまうような指定管理者の選定でなく、「地元住民に関わってもらい興味を持ってもらうこと」や「地元住民の雇用創出」といった「まちづくり」の観点で選定することが望ましいのではないか？
- ・施設管理者選定理由の見直し（「最低限維持」や「予算都合」でなく、「まちづくり」の観点により選定することが望ましい）。
  - ・積極的に地元自治会へ指定管理してもらうことも一案（地元市民が関わることで興味を持ってもらうイメージ）。
  - ・草刈り作業は地域の力を活用できると良い（有料ボランティアなど？）。
  - ・草刈りに費用がかかっているので、防草シートによる対策も一案。
  - ・雇用の創出につなげる（高齢者のいきがいにつながる）。

6. スポーツ・公園施設の担当課が三課に跨っていることはおかしいのではないか？連携不足が見受けられる。但し、今回のレビューで担当課が揃ったことは有意義であった。
- ・三課に跨っていることはおかしいのではないか？
  - ・施設担当課は一本化された方が望ましいのでは？
  - ・今回のレビューで担当課が揃ったことが有意義であった。
7. 利用予約は電話やFAXだけでなく、メールやインターネットを活用するなど、利用者視点での検討が必要ではないか？
- ・利用者視点で利用予約システムを導入する。
  - ・電話やFAXだけでなくメールやインターネットの活用が望ましい。
  - ・施設の一覧性を少なくともウェブサイトで担保し、それぞれの利用料や利用予約状況を確認できるポータルサイトを作ってはどうか？
8. 公共施設マップを作製の上、各公共施設に置くなど、「市民」がもっと施設を知れるような広報活動が必要ではないか？一方で、首都圏在住者をターゲットとしたPRも併せて必要ではないか？
- ・「市民」がもっと施設を知れるような広報活動が必要。
  - ・公共施設マップを作製し、各公共施設に置く。
  - ・首都圏にはスポーツ広場が少ない。君津はアクセスが良いためターゲットとしたい。
9. 広場は災害時における一時避難所として活用できる。防災の視点も含めた検討が必要ではないか？
- ・災害時は広場が必要。平常時は子どもやお年寄りが楽しめるような場所として活用。
10. 個々の施設に関する意見
- ・上総地区では統合で学校が無くなるので、スポーツ広場の必要性を検討する。
  - ・市民プールは利用する人が多いのに開館日数が少ない。また、学校も利用しているが雨天時は利用できない。屋内もしくは雨天時でも利用可能に出来ると良い。
  - ・君津グラウンドゴルフ場は、使用料が高い。地域のお年寄りは近所の小学校を使っている。
  - ・清和スポーツ広場は、テニスコートとしての管理は必要ないのでは。年間利用者4名では費用対効果が悪すぎる。県民の森とタイアップしてキャンプ場などに用途変更してはどうか。
  - ・小糸スポーツ広場は、市外県外利用者が多いため宿泊地を整備する。
  - ・松丘スポーツ広場のサッカー場と亀山キャンプ場をうまくPRして合宿などを誘致できると良い（既に市外県外の利用者が多いイメージ。周辺の道路も整備されたため今後も増えると思われる）。

- ・人見仮運動場は使用している様子が殆どない。
- ・貞元仮運動場は保育園用地としての活用が非現実的ではないか？
- ・亀山湖畔公園は観光拠点として整備を拡充し、きみつふるさと物産館などとのバス運送をするなど観光戦略の中で議論してはどうか？

## ◇A2\_文化ホール

プロジェクトメンバー及びオブザーバーが記入した評価シート集計結果は以下のとおりです。



また、自由記載欄に記入された意見は以下のとおりです。

1. 近隣市町村に同様の施設がなく、アクセス抜群であることから、君津市の代表施設としての更なる有効活用について検討が必要ではないか？なお、なかなか首都圏へ行けない市民が気軽に行ける施設であって欲しい。
2. 支出を抑え収入を増やす仕組みづくりが必要ではないか？そのためには利用状況について今一度整理することも一案。
3. 高い文化に触れられる重要な施設の一つ。良質なホールでの発表や鑑賞をする機会について「市民へ無償提供する側面」と「収益を上げる側面」の両方を充実させる視点で検討することも一案ではないか。
4. 設立当初より同様の指定管理者が運営しており人件費が増加傾向にあるが、どのように対応していくかの検討が必要ではないか？公募制度の導入も一案。新しいノウハウの取り入れに繋がるのでは。

5. 早急な用地買収が必要ではないか？もしくは借地単価賃下げ交渉が必要ではないか？

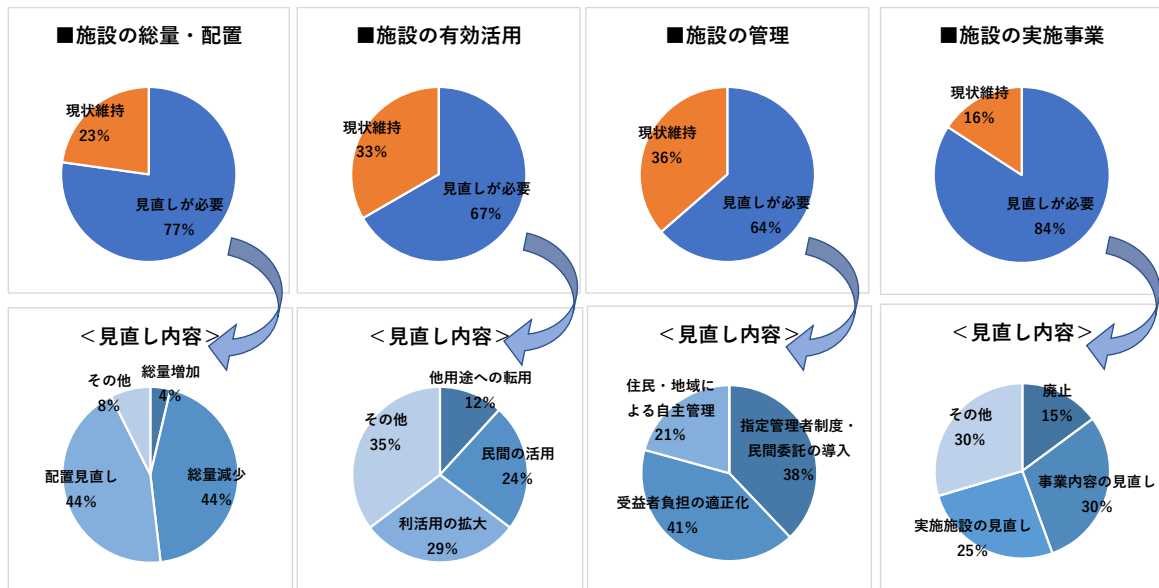
1. 近隣市町村に同様の施設がなく、アクセス抜群であることから、君津市の代表施設としての更なる有効活用について検討が必要ではないか？なお、なかなか首都圏へ行けない市民が気軽に行ける施設であって欲しい。
  - ・市の代表施設。近隣に同様の施設がないことから発展して欲しい。
  - ・アクセス抜群（IC やバスターミナルのすぐそば）であることから、更なる有効活用について検討したい。
    - ⇒「様々なものの拠点とする（資料館や図書館機能などを集約）」、「民間店舗の誘致」、「喫茶コーナーの常設」、「県南観光の入口と位置付けた検討」
  - ・なかなか首都圏へ行けない市民が気軽に行ける施設であって欲しい。
  - ・交通インフラ（バスやコミュニティバス）を整理することも一案。
2. 支出を抑え収入を増やす仕組みづくりが必要ではないか？そのためには利用状況について今一度整理することも一案。
  - ・支出を抑え収入を増やす仕組みづくり。
    - ⇒「ネーミングライツの導入」、「駐車場有料化」、「営業活動重視」、「ギャラリーの収益化」、「市のグッズ販売」、「管理者の自主事業拡大（レストラン、売店経営など）」、「有名アーティストに来てもらう」
  - ・稼働率の低いスペースをもっと有効活用させる仕掛け。
  - ・日常のサークルのリハーサルや練習などのホール利用は必要のない場合もあるのではないか。
3. 高い文化に触れられる重要な施設の一つ。良質なホールでの発表や鑑賞をする機会について「市民へ無償提供する側面」と「収益を上げる側面」の両方を充実させる視点で検討することも一案。
  - ・高い文化に触れられる重要な施設。「良質なホールでの発表経験をする」や「鑑賞をする」機会を市民へ無償提供する側面と、収益を上げる側面に分け、両方を充実させる仕組みづくりが重要ではないか。
  - ・市外県外の方の利用料アップについて検討することも一案。
4. 設立当初より同様の指定管理者が運営しており人件費が増加傾向にあるが、どのように対応していくかの検討が必要ではないか？公募制度の導入も一案。新しいノウハウの取り入れに繋がるのでは。
  - ・指定管理者については公募が望ましい（首都圏の民間企業や団体などに参入してもらい、新しいノウハウを導入させる）。

- ・指定管理者の人件費増について、どのように対応するか要検討。
- ・随意契約が多すぎる印象。入札制度を基本としてはどうか（様々な民間のアイデアを取り込める仕組みが望ましい）。

5. 早急な用地買収が必要ではないか？もしくは借地単価賃下げ交渉が必要ではないか？
- ・早急な用地買収が望ましい（借地は無くした方が良い）。
  - ・借地単価は見直しが必要（値下げ交渉）。

### ◇A3\_資料館

プロジェクトメンバー及びオブザーバーが記入した評価シート集計結果は以下のとおりです。



また、自由記載欄に記入された意見は以下のとおりです。

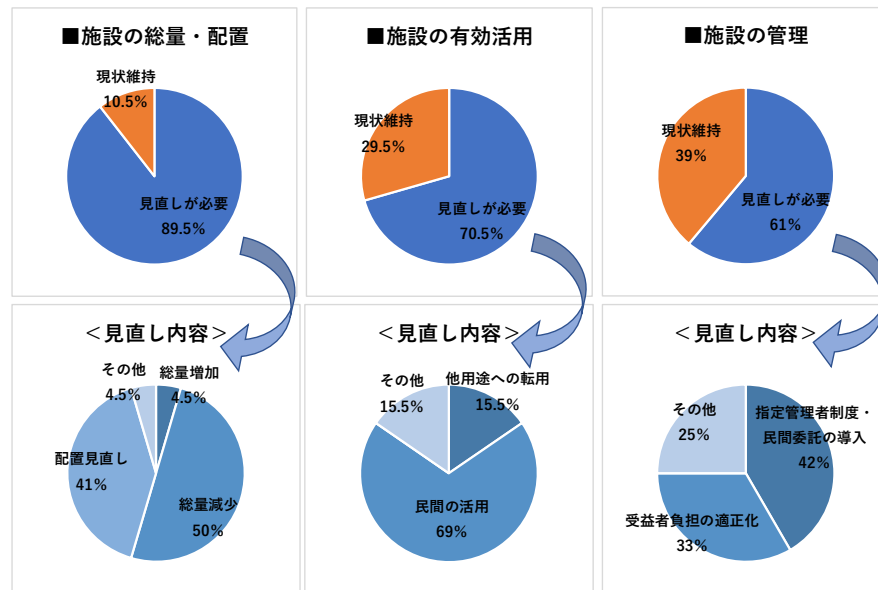
1. 「保存設備の統合」や「デジタルアーカイブ化」を駆使した低コストによる資料保存の追求が必要ではないか？
2. 「展示」に留まらず学校教育に活用するなど歴史を後世に伝えるための取り組みは更に必要ではないか？
3. 入場料を徴収するべきではないか？
4. 「魅力」を明確に見出した上で、「メディア戦略」や「学校の課外授業」など市内外問わず積極的なPR推進が必要ではないか？
5. 個々の施設に関する意見



1. 「保存設備の統合」や「デジタルアーカイブ化」を駆使した低コストによる資料保存の追求が必要ではないか？
  - ・低コストによる資料保存の追及⇒重要資料の効率的かつ適切な保管のため設備統合が望ましい。
  - ・学校統廃合により生じた文化財などと共同展示も一案。
  - ・コンテンツのデジタルアーカイブ化が望ましい。
  - ・“変わること”を恐れない。歴史は変わるもの。残し方はいくらでもある。
2. 「展示」に留まらず学校教育に活用するなど歴史を後世に伝えるための取り組みは更に必要ではないか？
  - ・積極的な課外授業や出前講座の実施など。
3. 入場料を徴収するべきではないか？
  - ・漁業資料館、久留里城址資料館共に入場料を取らないのは何故か？入場者減？人件費増？久留里城址資料館の開館 40 周年の老朽化対策として徴収開始は一案。
4. 「魅力」を明確に見出した上で、「メディア戦略」や「学校の課外授業」など市内外問わず積極的な PR 推進が必要ではないか？
  - ・「魅力的な何か」を見出した上で積極的な P R 推進について検討。
  - ・メディア戦略が重要ではないか。
  - ・学校の課外授業で P R 活動出来ると良い（のり付け体験など）。
5. 個々の施設に関する意見
  - ・漁業資料館は千葉県下に於いて唯一の施設であるが、現状を鑑みると「期間限定開館（冬季閉館など）」、「廃止（展示物や資料は分散【市民文化ホールギャラリー、図書館、周西公民館、県の資料館や博物館など】）」が望ましい。維持管理するとなれば「近隣市との共同運営」、「企業支援（日本製鉄など）」などについて検討したい。
  - ・久留里城址資料館は市外県外の見学者が多いため、観光拠点として継続。
    - ⇒（１）収益を生み出す仕掛け：「地元酒屋や神社と連携（入館券の半券を市内で使えるクーポンにする）」、「入館券に代わる手形発行」、「久留里城グッズ販売（城コレクター狙い）」、「ふるさと納税」など。
    - （２）久留里城に展示してある甲冑をモデルに模造品を作製し模擬戦を実施。
    - （３）展示物を変化させる（保管してある資料などの入れ替えなど）。
    - （４）高齢者や障がい者も行けるようエレベーターの設置は必須。
    - （５）修繕費は明治神宮の屋根補修（銅板販売）を参考に。
    - （６）展示事業の予算規模縮小について検討。

## ◇A4\_市営住宅

プロジェクトメンバー及びオブザーバーが記入した評価シート集計結果は以下のとおりです。



また、自由記載欄に記入された意見は以下のとおりです。

1. 現状把握と将来予測を踏まえ、そもそもの市営住宅の意義とは？該当者は？について明確化する必要があるのではないか？
2. 計画的な点検・耐震診断・修繕が急務ではないか？
3. 既存市営住宅の継続以外の方法として、例えば引越・家賃補助などについて検討する必要があるのではないか？
4. 家賃の妥当性の追求が必要ではないか？
5. 借地料の発生している施設は廃止すべきではないか？

1. 現状把握と将来予測を踏まえ、そもそもの市営住宅の意義とは？該当者は？について明確化する必要があるのではないか？
  - ・現状把握と将来予測が必要ではないか（人口構造など）。
  - ・市営住宅の意義を明確に（該当者は？）。
2. 計画的な点検・耐震診断・修繕が急務ではないか？
  - ・計画的な点検・耐震診断・修繕が急務。

- ・廃止対象施設の明確化。

3. 既存市営住宅の継続以外の方法として、例えば引越・家賃補助などについて検討する必要があるのではないかな？

- ・市営住宅の継続以外の方法について要検討（県営住宅への転居【そもそも互換性は？】、民間施設への転居、引越・家賃補助、仮設住宅建設など）。
- ・入居者一人ひとりと会って話し合いが必要。
- ・現在入居者が高齢化。福祉との連携も必要。
- ・上総地区を統合し、別の地区へ新設も一案。

4. 家賃の妥当性の追求が必要ではないかな？

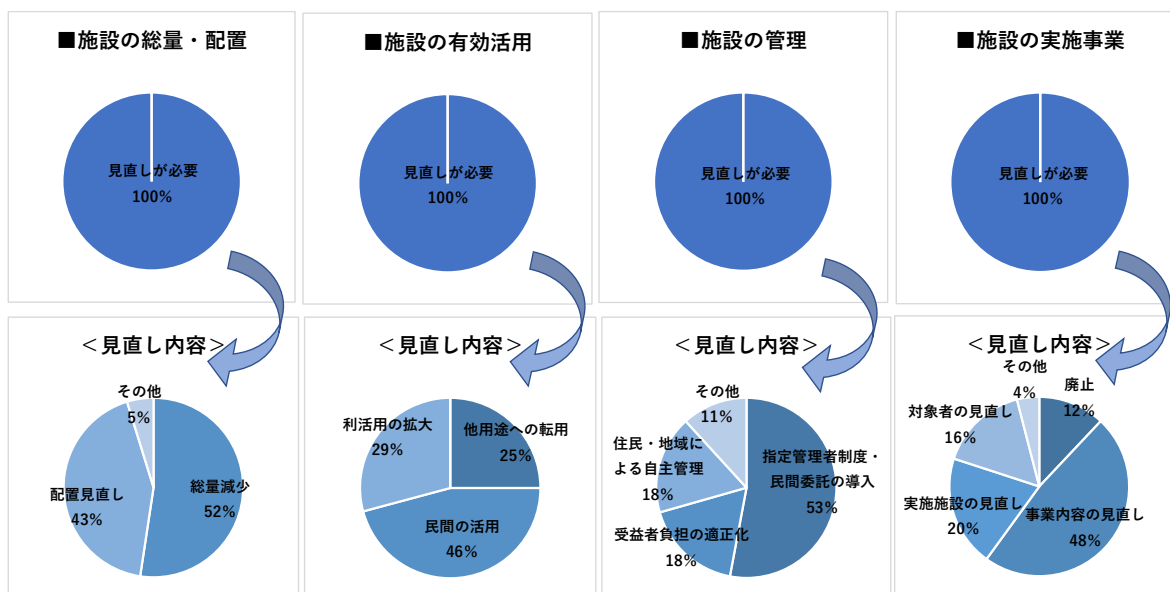
- ・家賃妥当性の追求（利便性、築年数、年収など）。

5. 借地料の発生している施設は廃止すべきではないかな？

- ・借地料の発生している施設は廃止。

## ◇A5\_産業・観光施設

プロジェクトメンバー及びオブザーバーが記入した評価シート集計結果は以下のとおりです。



また、自由記載欄に記入された意見は以下のとおりです。

1. 個々の施設の存在意義から施設のあり方を考え直す必要があるのではないか？
2. 「現状把握」「観光収支分析」「目的見直し」「ターゲット明確化」などの観光戦略を踏まえた施設のあり方について検討が必要ではないか？なお、観光客向けの施設であっても地元の人が親しめる観光資源とすることが理想ではないか？
3. 委託先が毎年同様の組織だとマンネリ化してしまう恐れがあるため、他の民間や団体の参入、もしくは人員を入れ替えて管理運営すべきではないか？また、委託後の市の関わり方こそ重要ではないか？
4. 「市外県外の方へのPR」も重要だが、「市民に対しての情報発信」も必要ではないか？
5. 個々の施設に関する意見

1. 個々の施設の存在意義から施設のあり方を考え直す必要があるのではないか？
  - ・ 個々の施設の存在意義から考え直す必要あり。
  - ・ 目的に見合った施設のあり方について要検討（そもそも目的が不明確な施設あり。「本当に必要？」、「必要だとしてもその場が必要？（施設ありきを考えない）」の視点が必要ではないか）。
  - ・ 産業や観光は市民にとってどんなメリットがあるか？の視点が重要ではないか。
  - ・ 誰だって残せるものは残したいと思う。しかし先のことを考えると不可能だし結果誰のためにもならない。
  - ・ 市民だけが知るような古い資源に投資する必要はないのではないか（地元民しか知らない魅力的な場所は別）。新たな資源に目を向けても良いのでは？
2. 「現状把握」「観光収支分析」「目的見直し」「ターゲット明確化」などの観光戦略を踏まえた施設のあり方について検討が必要ではないか？なお、観光客向けの施設であっても地元の人が親しめる観光資源とすることが理想ではないか。
  - ・ 現状把握（観光収支分析含む）。
  - ・ 目的の見直し（移住してくれる人を増やすという視点も重要）。
  - ・ ターゲット層の明確化（市民？観光客？年齢層？）。
    - ⇒久留里亀山地区は観光面での交流人口増大が見込まれる。本地区における施設を充実させると若い人が来るのではないか。特に今はキャンプやグランピングが流行っているので、少し費用がかかったとしても、綺麗なシャワー、お風呂、トイレ、ドッグランなどを整備することも一案。
    - ⇒市外県外の子どもたちが森林体験交流センターにて木を植えるなどの体験をすることで、「自分が植えた木をまた見に行ってみよう」と再来するきっかけになるのでは。

⇒木更津ICそばにある「うまぐたの里」と久留里、小櫃方面はアクセスが良い。活かせることがあるのでは？

- ・市民が親しむ施設を観光資源とすることが理想。

⇒観光客向けの施設であっても地元の人が気軽に行ける施設が望ましい。地元で愛されている場所は訪れて楽しい。観光客を地域の人達で歓迎してあげるようなイメージ。地域コミュニティの拠点をどこにするかも目安になる。

- ・観光事業としての公共施設は、縮小方向が望ましい。

⇒行政は観光事業を支援するスタンスが望ましい。

3. 委託先が毎年同様の組織だとマンネリ化してしまう恐れがあるため、他の民間や団体の参入、もしくは人員を入れ替えて管理運営すべきではないか？ また、委託後の市の関わり方こそ重要ではないか？

- ・委託先が毎年同様の組織だと硬直化（マンネリ化）してしまう。他の民間や団体の参入、もしくは人員を入れ替えて運営すべき。

- ・委託先の公募方法について改めて検討が必要ではないか（公募要領に年間利用者数の目標を入れるなど創意工夫を促してはどうか）。

- ・委託後の市の関わり方は重要だと思う。「どうぞご自由にお使い下さい。」といった委託先任せでなく、市も思いをもって協働する（委託業者の適切なマネジメントを行うなど）べき。

4. 「市外県外の方へのPR」も重要だが、「市民に対しての情報発信」も必要ではないか？

- ・市外県外の方へのPRも重要だが、市民に対しての情報発信がもう少しあっても良いのでは。

- ・君津市の観光資源を市民が知らないのはどうか？ 口コミも重要ではないか（SNSを活用できるのではないか）。

- ・木更津イオンや木更津アウトレットでPRすることも一案（市民向け）。

- ・軽食、ランチが出来るところは積極的に情報発信。

- ・君津観光マップの売り込み方法について検討が必要。

- ・物産館（海ほたるなど）に人を置いてPRする（観光客向け）。

- ・大江戸温泉物語はマザー牧場や鴨川シーワールドへの観光客が宿泊するが、むしろここで君津の魅力を発信したい。

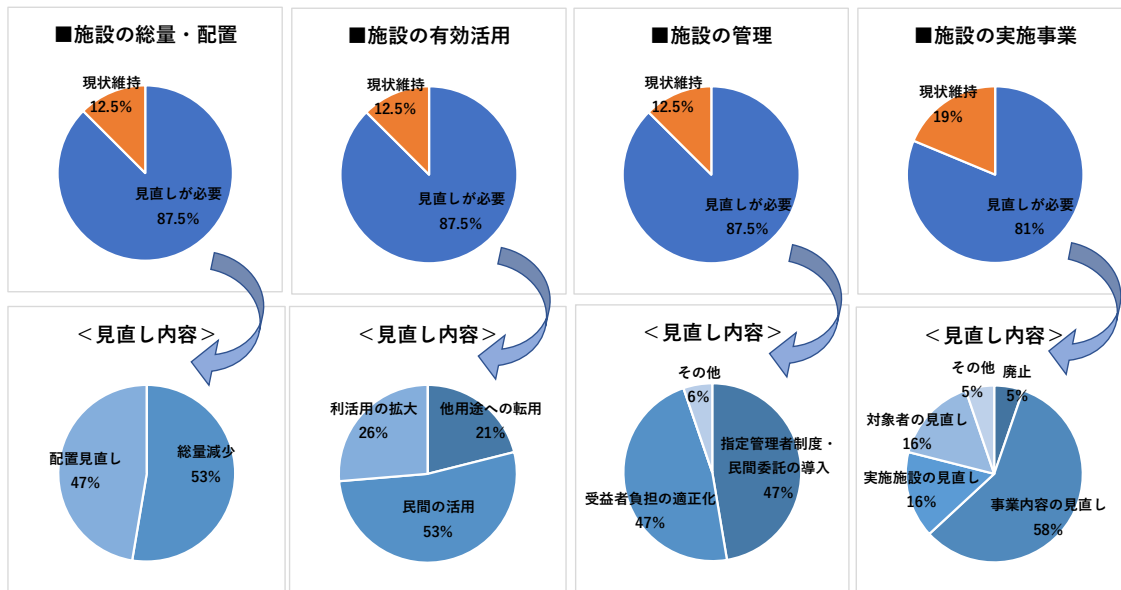
5. 個々の施設に関する意見

- ・亀山会館は亀山ダムを見に行った際に寄りたくなる良い場所にあるが、サービスなどは少し残念に感じる。立ち寄りた場所として少し弱い印象。名称も一つの要因か。

- ・ 九十九谷や三石山はとても良いスポット。休憩所の修繕は臆することなく修繕投資して欲しい（山に登る人は少なからず存在する）。
- ・ 勤労者総合福祉センターは税金を使い過ぎではないか。また、君津市の端に位置しているため使いにくい。なお、同様のトレーニングセンターが上総地区にあるとありがたい。
- ・ 自然休養村管理センターは直売所の再整備化が望ましいのではないかな。また、土日の直売所の公的管理をしっかりと議論するべき。
- ・ きみつふるさと物産館は他の道の駅に比べて魅力がなく、目的地にならない。君津らしさ、ワクワク感が欲しい。また、道の駅という施設であることは変えずに民間譲渡するなどの検討も必要ではないかな（浜松市の例を参考に）。
- ・ 花木センターは、費用をかけても良いと思う。ミツバツツジや桜の育成は自然や緑化に必要である。また、花の配布だけでなく、花を植えるなどして市民が身近に感じられる施設だと市の花として興味が出るのではないかな。ミツバツツジを植える際はボランティアを募ると良い。
- ・ ジビエ（獣肉加工処理）について、今後益々必要になってくると思う。市民が気軽に買えるようになると良い。直売所やコンビニで販売や、イオンに売り込むことも一案。ジビエ料理を地元レストランやメディアを連携してPRすることも一案ではないかな。
- ・ 農村環境改善センター及び久留里観光案内所は上総公民館へ統合。自然休養村管理センター、花木センター、片倉ダム記念館、亀山会館、獣肉処理加工施設はその場所になくとも目的は達成できるかもしれない。
- ・ 個々の施設に対しては住民との対話を徹底するべき。

## ◇A6\_保健・福祉施設

プロジェクトメンバー及びオブザーバーが記入した評価シート集計結果は以下のとおりです。



また、自由記載欄に記入された意見は以下のとおりです。

1. 将来の人口特性を見据えつつ、誰が何のために使うかを明確にする必要があるのではないか？
2. 計画的な点検・耐震診断・修繕が急務ではないか？
3. 地区から診療所というハコモノが無くなる不安で継続を求めるより、「確実に受診できる」システムづくり、例えば移動式医療や遠隔医療、交通手段の利便性向上などに費用をかけるべきではないか？
4. 委託先の情報は市が知っておくべきではないか？
5. 個々の施設に関する意見

1. 将来の人口特性を見据えつつ、誰が何のために使うかを明確にする必要があるのではないか？
  - ・ 将来の人口特性を見据えた施設づくりが必要ではないか。
  - ・ 誰が何のために使うかを明確に。
  - ・ 目的、需要、供給のバランスが悪い。

2. 計画的な点検・耐震診断・修繕が急務ではないか？

- ・耐震診断は最も重要（所管課が不明確なことは問題。劣化の進んだ建物は医者が来ない一つの要因ではないか）。
- ・診療所で怪我をしてしまっは元も子もない。耐震化や修繕及び廃止の判断は急務。
- ・継続が必要な施設のハード部分については、メーカーに割安で入れてもらうことを検討することも一案。

3. 地区から診療所というハコモノが無くなる不安で継続を求めるより、「確実に受診できる」システムづくり、例えば移動式医療や遠隔医療、交通手段の利便性向上、他施設との複合化などに費用をかけるべきではないか？

- ・地区から診療所というハコモノが無くなる不安で継続を求めるより、「確実に受診できる」システムづくりに費用をかけたい。移動式医療や遠隔医療も一案。施設の存続（施設ありき）でなく交通手段の利便性を上げる案はコスト減に繋がる可能性有。総合的なまちづくりが必要。
- ・「あれば良い」と「無ければならない」を明確にして考慮していく必要がある。
- ・あればあったで安心。無ければ無いで人間は順応できる。
- ・「今までの慣習を止める」という度胸が必要。
- ・診療所は直営でなく民間を活用した効率的な運用を検討して欲しい。診療所機能は必要と考える。
- ・診療所と老人支援施設の統合は出来ないだろうか？
- ・高齢者と子どもと一緒に過ごせる施設があると防犯対策やコスト減に繋がるのではないか？

4. 委託先の情報は市が知っておくべきではないか？

- ・委託先の状況などの情報は市が知っておくべき。

5. 個々の施設に関する意見

- ・医療部門の支出が多すぎるのではないか（特に薬剤費、人件費、物品費）。専門家（経営アドバイザーなど）に介入してもらうことも一案。
- ・清和診療所は地区全体人口からみた利用者を考えると必要ないのではないか。正直、自分の周りの清和在住高齢者は市内・市外の病院へ通院している。
- ・ふれあい館に入っているデイサービスや社会福祉協議会からは賃料を徴収すべき。また、稼働率が低すぎるため、他の施設の統合によって見直しできないか。
- ・生きがい支援センターの利用者が少ない。建物がもったいない。
- ・ゆうゆう館の利用実態が公民館やコミセンと一緒に。統合することが望ましい。
- ・憩いの家は受益者負担の観点から見直しが必要。



- ・福祉作業所はサービス水準量を上げることを目的とした民設民営を推進できるなら、公共施設は廃止を目指すことが望ましいのではないか。
- ・身体障がい者、知的障がい者の就労施設不足が見受けられるが、精神障がい者はどうなっているかを把握したい。

君津まちづくりプロジェクト  
施設レビュー結果

# B 班

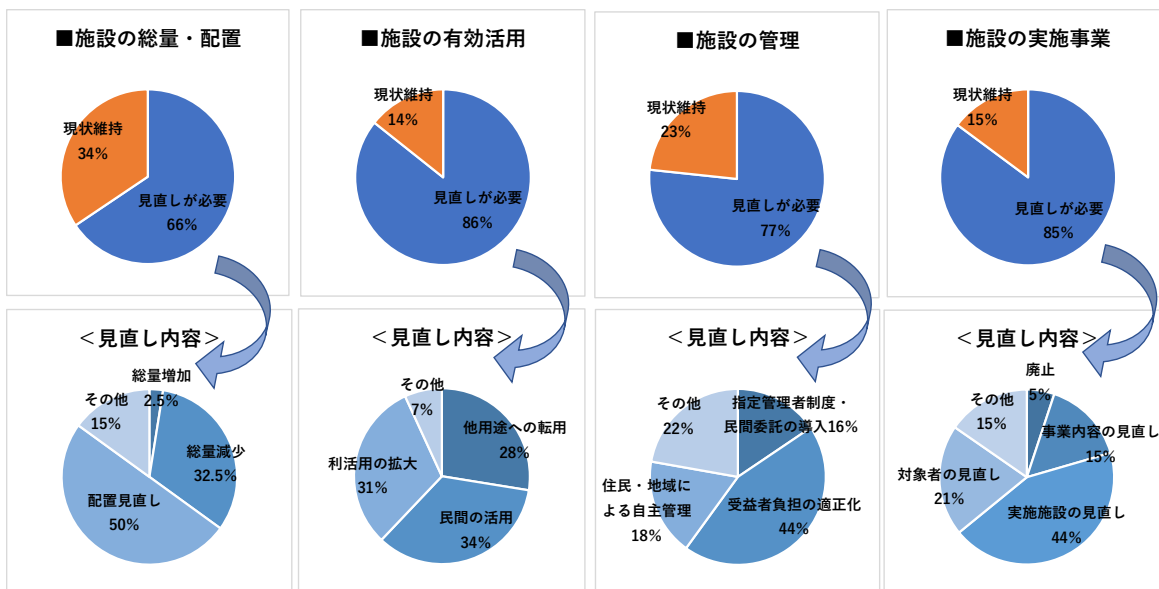
## ■B 班対象施設区分

| 施設区分名 |          | 施設数  | 頁数     |
|-------|----------|------|--------|
| B1    | 公民館等     | 11施設 | － 18 － |
| B2    | 行政施設     | 6施設  | － 21 － |
| B3    | 図書館      | 7施設  | － 23 － |
| B4    | コミュニティ施設 | 5施設  | － 25 － |
| B5    | 保育園      | 13施設 | － 28 － |
| B6    | 子育て支援施設  | 1施設  | － 30 － |
|       | 放課後児童クラブ | 3施設  |        |

## ■施設区分毎レビュー結果

### ◇B1\_公民館等

プロジェクトメンバー及びオブザーバーが記入した評価シート集計結果は以下のとおりです。



また、自由記載欄に記入された意見は以下のとおりです。

- 単なる「社会教育の場」ではなく、「住民の交流場」「子どもの遊ぶ場」「避難所」等、多方面で活用しており、その点も含めて検討する必要があるのではないか？
- 地域の自治会館を活用するなど「他施設の活用」も含めて検討が必要ではないか？
- 人口減少や空き家の増加など、これまでの状況にとらわれず「未来の状況」を検討すべきではないか？

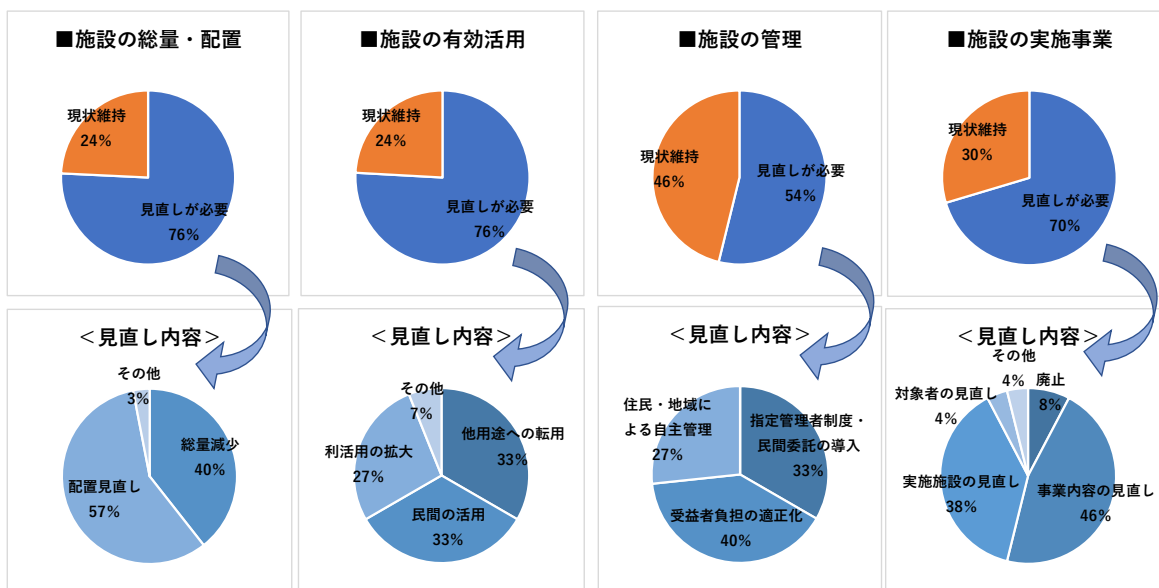
4. 施設を複合化することで新たなコミュニケーションが生まれるのではないか？  
(学校施設に公民館を入れることで、子どもと大人の交流が増える)
5. 地域内の施設数や施設までの距離など、地域単位で検討する必要があるのではないか？
6. 施設維持のため受益者負担の適正化や計画的な基金の積立が必要ではないか？
7. 借地について、返還や借地料の見直しが必要ではないか？
8. 使用していない施設や用地について、民間企業の誘致など有効活用・収益化が必要ではないか？
9. 主催事業の増加や貸室のインターネット予約など、施設の有効活用を図るべきではないか？

1. 単なる「社会教育の場」ではなく、「住民の交流場」「子どもの遊ぶ場」「避難所」等、多方面で活用しており、その点も含めて検討する必要があるのではないか？
  - ・田舎の方は公園もないため、公民館は子どもの遊び場にもなっている。
  - ・防災拠点として不足を感じており、さらに充実させる必要がある。
  - ・避難所としての機能を第1に考えてほしい。
  - ・統廃合を検討する場合は災害時の避難所機能を備えた施設に改修が必要。
  - ・地域交流、投票所、健康診断の利用など公民館の機能は多岐にわたっているが、施設を維持することは別で考える必要がある。
2. 地域の自治会館を活用するなど「他施設の活用」も含めて検討が必要ではないか？
  - ・地域の自治会館やコミュニティセンターを利用すれば分館は不要。
  - ・学校の空き教室も増えるので、学校と複合化してはどうか。
  - ・他施設と複合した場合、足の確保は必要。
3. 人口減少や空き家の増加など、これまでの状況にとらわれず「未来の状況」を検討すべきではないか？
  - ・人口は必ず減り、高齢化が進むことを前提に検討すべき(足の確保等)。
  - ・サークル活動者の減少など、将来の活用状況の変化を含めて検討すべき。
  - ・今後、空き家も増えるので、有効利用できるのではないか。
4. 施設を複合化することで新たなコミュニケーションが生まれるのではないか？  
(学校施設に公民館を入れることで、子どもと大人の交流が増える)
  - ・学校と公民館を複合化することで、若者と老人のコミュニケーションが図れるのではないか。
  - ・学校が公民館機能を持つことで、子どもにとっても活用しやすくなるのではないか。

5. 地域内の施設数や施設までの距離など、地域単位で検討する必要があるのではないか？
- ・住宅地とそれ以外を分けて検討する必要がある。
  - ・車移動が前提ではなく、地域の子どもが使うことも含めて検討する必要がある。
  - ・上総地区は施設が多い。統廃合が可能ではないか。
  - ・清和地区は面積が広く、活用しにくい。
6. 施設維持のため受益者負担の適正化や計画的な基金の積立が必要ではないか？
- ・市外利用者から料金を取るべき。
  - ・施設維持のため有料化すべき。
- (広さや利用頻度に応じて金額設定、学生の無料化なども検討すべき)
- ・毎年計画的な積み立てを行い、修繕に充てる必要があるのではないか。
7. 借地について、返還や借地料の見直しが必要ではないか？
- ・借地返還を前提にして、その地区の施設をどうすべきか検討が必要。
  - ・借地料の見直し交渉を継続して実施すべき。
8. 使用していない施設や用地について、民間企業の誘致など有効活用・収益化が必要ではないか？
- ・敷地の一部を活用し、バザーの開催などを企画してはどうか。
  - ・外部企業を誘致(カフェ、学習塾等)することで地域活性化に繋がるのではないか。
9. 主催事業の増加や貸室のインターネット予約など、施設の有効活用を図るべきではないか？
- ・利用率を上げるには、主催事業で初めての人を取り込めるような事業が必要ではないか。
  - ・公民館事業は良い取組をしているので、情報を伝える方法を考えたほうが良い。
  - ・HPから予約できるようにすると、利便性が向上するのではないか。

## ◇B2\_行政施設

プロジェクトメンバー及びオブザーバーが記入した評価シート集計結果は以下のとおりです。



また、自由記載欄に記入された意見は以下のとおりです。

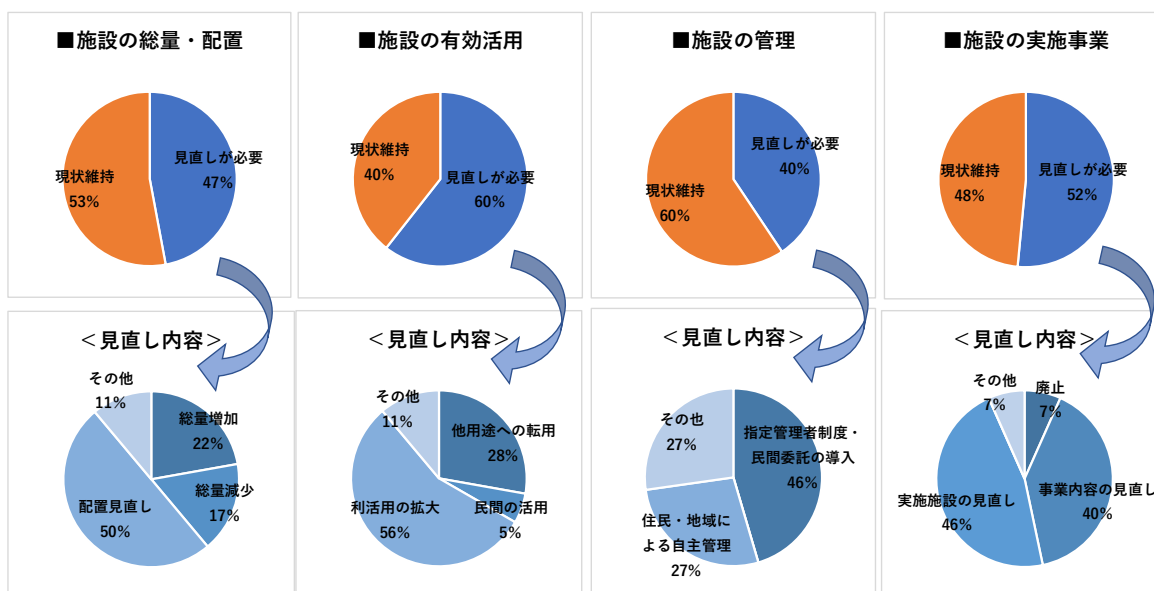
1. 防災拠点としての観点も含めて検討する必要があるのではないか？
2. 業務量に応じて他施設の活用も含めた検討が必要ではないか？
3. 高齢化や電子申請の導入など、これまでの状況にとらわれず「未来の状況」を検討すべきではないか？
4. 集約化する場合、バスを運行させるなど「施設の集約化とサービスの維持」の両立が必要ではないか？
5. 各地域で同様のサービスが受けられるようにするなど、地域単位で検討する必要があるのではないか？

1. 防災拠点としての観点も含めて検討する必要があるのではないか？
  - ・本庁舎は長寿命化しつつ、自家発電の強化など防災機能の充実を図るべき。
  - ・市役所が機能しなくなった時の行政センターの役割も含めて検討すべき。
  - ・行政センターが防災拠点であるならば、複合化して学校を拠点とすべき。
2. 業務量に応じて他施設の活用も含めた検討が必要ではないか？
  - ・行政センターとしてのハコは不要。
  - ・農協など、各地域の施設を間借りして使ってはどうか。
  - ・独立してプレハブ程度のものにしてはどうか。

- ・ 公民館と併設であっても、窓口を 1 本化するなど、スペースの共有は可能ではないか。
  - ・ コンビニでの証明発行等、他の場所でもできる業務はやり方を変えてはどうか。
3. 高齢化や電子申請の導入など、これまでの状況にとらわれず「未来の状況」を検討すべきではないか？
- ・ 高齢化が進む中で高齢者が行政センターに行けるのか疑問が残る。
  - ・ 交通の便が良くなった現在、小糸行政センターは不要ではないか。
  - ・ 電子申請の導入などの IT 化や民間委託を進めることで施設が統廃合できるのではないか。
4. 集約化する場合、バスを運行させるなど「施設の集約化とサービスの維持」の両立が必要ではないか？
- ・ 行政センターを集約化し、土日夜間の時間延長等を実施すべき。
  - ・ 施設を集約化し、マイクロバス等を運行する。
  - ・ 施設を集約化し、遠隔地の届け出は郵便振替で対応。
5. 各地域で同様のサービスが受けられるようにするなど、地域単位で検討する必要があるのではないか？
- ・ 人口が少ない地区にも人が住んでいる。高齢者も多いため、利用が少ないという理由で廃止すべきではない。
  - ・ 近くにある行政センターは必要。
  - ・ 本庁を小さくし、各地域で同様のサービスが受けられるようにしてはどうか。

## ◇B3\_図書館

プロジェクトメンバー及びオブザーバーが記入した評価シート集計結果は以下のとおりです。



また、自由記載欄に記入された意見は以下のとおりです。

1. 交流の場、学習の場としての観点も含めて検討する必要があるのではないか？
2. サービスの内容に応じた施設を検討すべきではないか？
3. 書籍の電子化や受付のA I化など、これまでの状況にとらわれず「未来の状況」を検討すべきではないか？
4. 蔵書の管理徹底や施設にコンセプトを持たせるなど運営体制を見直すべきではないか？
5. 地域単位で同様のサービスが受けられるように検討する必要があるのではないか？
6. ネット予約の開始や民間譲渡など、貸し会議室の有効利用が必要ではないか？

1. 交流の場、学習の場としての観点も含めて検討する必要があるのではないか？
  - ・本を借りる場所だけでなく、交流の場、学習の場でもある。
  - ・1日図書館にいられるように、飲食ができる場を作ってはどうか。

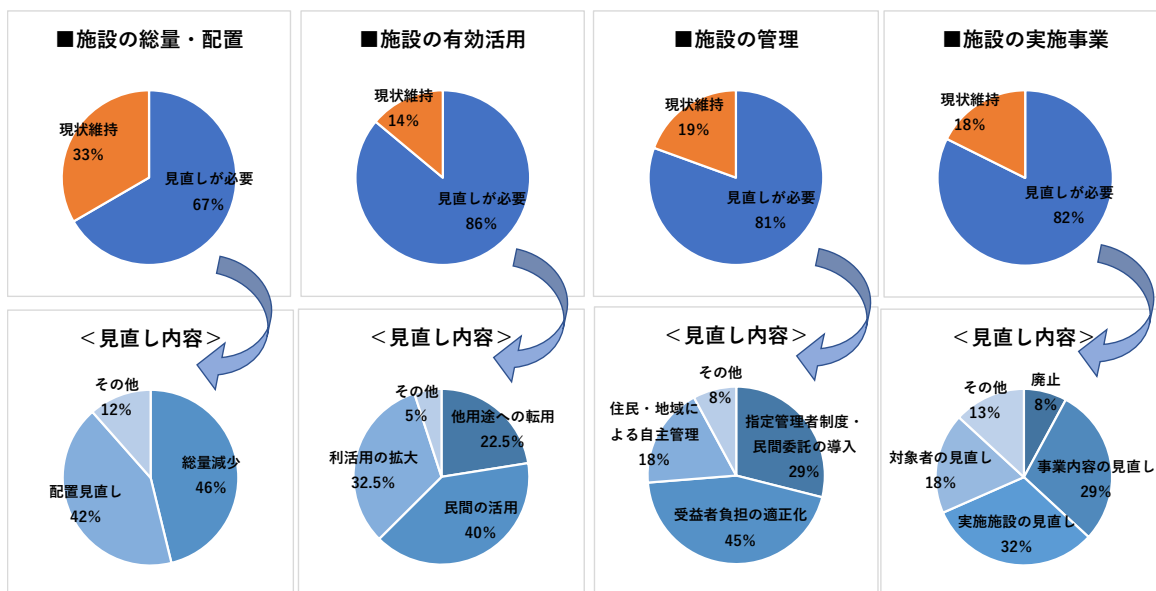
2. サービスの内容に応じた施設を検討すべきではないか？
  - ・利用率の低い分室は統廃合してはどうか。
  - ・分室は移動図書館やインターネット予約を活用すれば不要ではないか。
  - ・学校に併設した方が、利便性が高いのではないか。
  - ・書店で本を購入するため、そもそも利用しない。図書館は不要。



3. 書籍の電子化や受付のA I化など、これまでの状況にとらわれず「未来の状況」を検討すべきではないか？
  - ・書籍の電子化や受付のA Iサポート等を含めて検討してはどうか。
4. 蔵書の管理徹底や施設にコンセプトを持たせるなど、運営体制を見直すべきではないか？
  - ・本の冊数だけでなく、絵本の世界の表現、古きよきものの紹介などを実施してはどうか。
  - ・近隣4市の中で最も大きく、拠点的な役割を持つ中央図書館の維持は必要。
  - ・分室の図書の入れ替えを頻繁に実施してはどうか。
  - ・紛失が多く管理不足。
  - ・小中学校の蔵書と一緒に管理してはどうか。
  - ・分室を地域住民が運営することで活性化し、利用が増えるのではないか。
  - ・公民館の中に分室があることや、図書のインターネット予約が出来ることを知らなかった。PRすることで利用率が向上するのではないか。
5. 地域単位で同様のサービスが受けられるように検討する必要があるのではないか？
  - ・中央図書館と分室の差が激しいが、中央図書館まで距離がある。子どものためにも各地域に大きな場所が必要ではないか。
  - ・公民館に併設なら、各公民館にも図書館があればよいのではないか。
6. ネット予約の開始や民間譲渡など、貸し会議室の有効利用が必要ではないか？
  - ・料金を安くし、ネット予約を可能にしてはどうか。
  - ・貸室について、公民館が無料のため、統一の受益者負担としてはどうか。
  - ・会議室部分は外部委託もしくは民間譲渡してはどうか。

## ◇B4\_コミュニティ施設

プロジェクトメンバー及びオブザーバーが記入した評価シート集計結果は以下のとおりです。



また、自由記載欄に記入された意見は以下のとおりです。

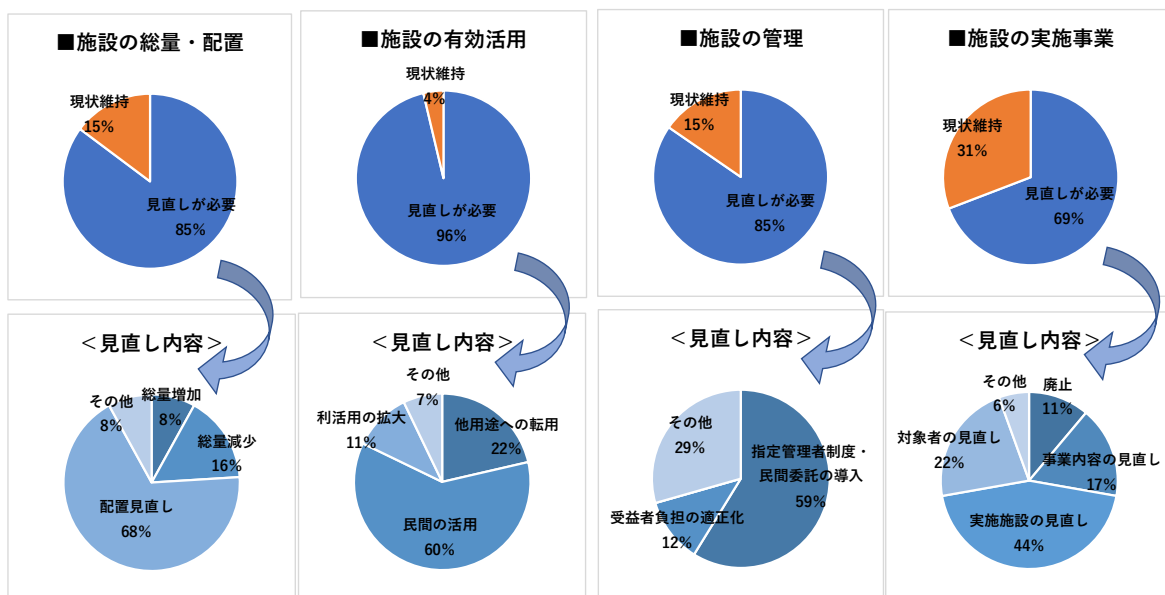
1. コミュニティセンター、公民館、自治会が所有する施設（自治会館、青年館等）のそれぞれの役割や活動を再検討し、施設の配置を見直す必要があるのではないか？
2. 利用率が低い部屋を有効活用し、地域に必要なサービス（学童など）を行えないかを検討する必要があるのではないか？
3. 地域住民主体の運営がより活発になるように管理運営体制の見直しを行う必要があるのではないか？
4. 各コミュニティ施設の利用者特性や維持管理費を把握し、利用料の見直しを行う必要があるのではないか？
5. 防災の視点に立ち、コミュニティ施設にはどのような設備や運営が必要かを検討すべきではないか？
6. 施設の管理者、利用者それぞれが活動しやすくなるよう、コミュニティ施設に係る所管課の連携体制の見直しを検討する必要があるのではないか？
7. 各地区の特性（人口や地理、交通機関など）を考え、施設の配置を見直す必要があるのではないか？
8. 個々の施設に関する意見（神門コミュニティセンターの入浴施設について）

1. コミュニティセンター、公民館、自治会が所有する施設（自治会館、青年館等）のそれぞれの役割や活動を再検討し、施設の配置を見直す必要があるのではないか？
  - ・ 公民館、コミュニティセンター、自治会館の役割を明確にし、それぞれが能動的に活動できるようにならないか。
  - ・ 各自治会館も老朽化しているので、自治会所有も公民館やコミュニティセンターと一緒に議論する必要がある。
  - ・ コミュニティセンターと公民館で取り組んでいる内容（事業）は、ほとんど重複していないか。
  - ・ 地域住民の交流やサークル活動なら、自治会館でも良いのではないか。
  - ・ そもそもコミュニティセンターの「コミュニティ」とはどういう意味か。
2. 利用率が低い部屋を有効活用し、地域に必要なサービス（学童など）を行えないかを検討する必要があるのではないか？
  - ・ 学童など複合化できないか。
3. 地域住民主体の運営がより活発になるように管理運営体制の見直しを行う必要があるのではないか？
  - ・ 「指定管理を行うことの必要性」から考えたほうがよい。
  - ・ 地域に任せるにもボランティアとして頼るのには限度がある。お金を伴いお金が回る仕組みが必要。
  - ・ 指定管理者が施設を運営しているメリットを感じなかった。地元の人たちで管理しているのならば、自治会と協力し、年間計画をしっかりと立てたうえで、それに見合った予算を配当したほうが良い。コミュニティの活性化が図れる企画をしていくべきだと思う。
  - ・ 昔は、公民館の運営は青年団・婦人会・老人クラブなどが担っていた。
  - ・ 指定管理者の選定方法を見直す必要はないか。
  - ・ 年間を通して自主事業が少ないように感じる。
4. 各コミュニティ施設の利用者特性や維持管理費を把握し、利用料の見直しを行う必要があるのではないか？
  - ・ 利用者に偏りが生まれている施設を維持するために、市税を使うのであれば、受益者負担や自治会費の納入など検討する必要はないか。
  - ・ 全施設で利用料を徴収する。また、市内者と市外者で利用料の差別化を図るのはどうか。
  - ・ 君津地区について公民館の近くにある施設は有料化しても良いのではないか。

5. 防災の視点に立ち、コミュニティ施設にはどのような設備や運営が必要かを検討すべきではないか？
- ・災害時に必要なスペース（避難ルーム、ヘリコプターの発着所）、また防災・災害備品を整備する。
  - ・災害時は避難所に指定されているが、運営体制はどうなっているのか。
6. 施設の管理者、利用者それぞれが活動しやすくなるよう、コミュニティ施設に係る所管課の連携体制の見直しを検討する必要があるのではないか？
- ・公民館の分館としても存在しているコミュニティセンターもあるのに、何故、公民館とコミュニティセンターとで担当する課が違うのか。縦割りの影響で、全体像が見えてこない。コミュニティ施設に係る市役所内の部署自体を一緒にできないか。
  - ・市民にとっては、公民館、行政センター、図書館分室、コミュニティセンターは同じような施設。行政の縦割りによる、人件費や事業に重複があるように感じる。縦割りをなくしていくことを検討する必要がある。
7. 各地区の特性（人口や地理、交通機関など）を考え、施設の配置を見直す必要があるのではないか？
- ・君津地区は、バスなど移動手段が充実していて、かつ公民館、図書館などの貸館もたくさんあるので、施設数を減らしても良いのではないか。
8. 個々の施設に関する意見
- （神門コミュニティセンターの入浴施設について）
- ・去年の台風の影響により約2週間停電した際、神門のお風呂の開放があった。とてもありがたかった。そういった視点で見ると、入浴施設のあるセンターは持続したほうが良いのではないか。
  - ・市が、お風呂を運営する必要はないと思う。民間に譲渡する必要がある。
  - ・利用者を増やすために、入浴できる時間をもう少し遅くする（仕事帰りでも入れるようにする）。

## ◇B5\_保育園

プロジェクトメンバー及びオブザーバーが記入した評価シート集計結果は以下のとおりです。



また、自由記載欄に記入された意見は以下のとおりです。

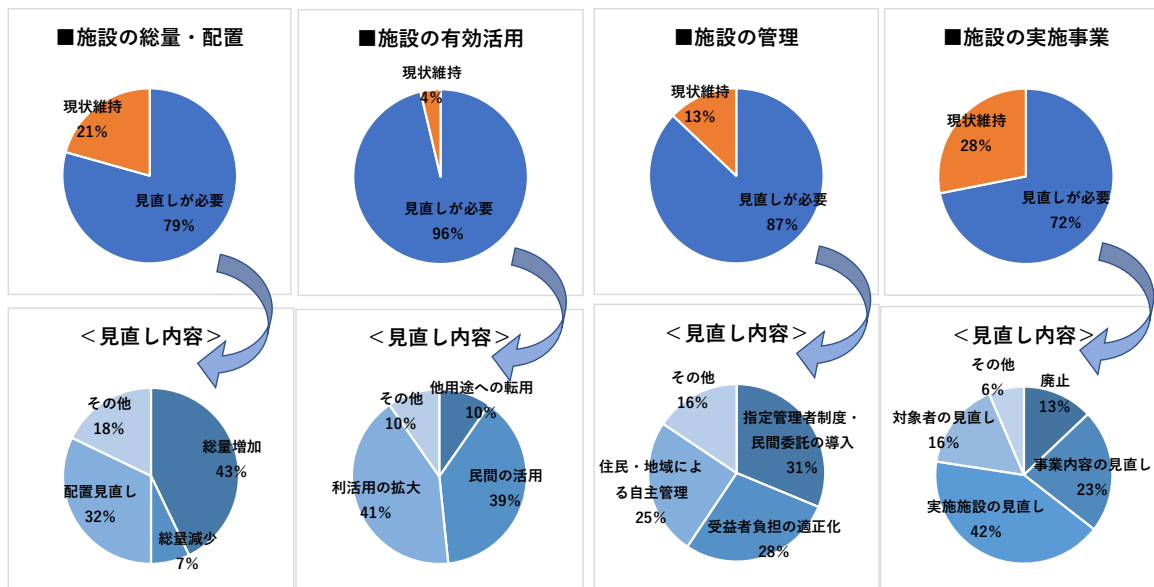
1. 子どもの安全を考え、早期に改修・修繕計画を見直す必要があるのではないかな？
2. 「民営」と「公営」のメリット・デメリットを明確にし、各地区の教育・福祉の質が担保できるよう、施設の配置や市の管理・運営体制を見直す必要があるのではないかな？
3. 保育事業（ファミリーサポート事業など）の充実や、コミュニティ施設の空き部屋の活用など、保育園ありきではなく、必要な機能やサービスは何かから考える必要があるのではないかな？
4. 廃止する（した）保育園の活用方法を見直す必要があるのではないかな？
5. 待機児童や保育士不足の解消に向け、他市との協力を検討すべきではないかな？
6. 保育園の個別計画に、住民はどのように関わられるのかを市は分かりやすく説明する必要があるのではないかな？

1. 子どもの安全を考え、早期に改修・修繕計画を見直す必要があるのではないかな？
  - ・改修への着手が遅い。
  - ・子どもの安全を考えると、修繕よりは建て替えが必要なのではないか。また早急に着手する必要がある。

2. 「民営」と「公営」のメリット・デメリットを明確にし、各地区の教育・福祉の質が担保できるよう、施設の配置や市の管理・運営体制を見直す必要があるのではないかな？
- ・民営化した際も、市は教育、福祉の質を担保する。
  - ・民営、公営それぞれのメリット・デメリットを明確にしたうえで、両者の総量を図る必要がある。そのうえで、管理体制を決める。
  - ・民間保育園は特色があるので、誰もが使える保育園にはならないと思う。民間の保育園を作る際は、公立の保育園も選択できるような施設配置にならないと不公平感が多くなると思う。
  - ・幼保連携施設の検討をする。
  - ・園児の定員を超えている園から定員に満たない園にバスで送迎できないか。
  - ・都市部は民営化、山間部は施設を複合化（福祉・教育系）する。
  - ・今後の児童推移の見通し、保育園の施設数を検討する。
3. 保育事業（ファミリーサポート事業など）の充実や、コミュニティ施設の空き部屋の活用など、保育園ありきではなく、必要な機能やサービスは何かから考える必要があるのではないかな？
- ・保育園と公民館を複合化する。災害時、避難所となれば子どもを連れて安心して避難できるといった（複合化すれば、初めから子どもに必要なものが揃っている）。
  - ・潜在保育士の活用により、ファミリーサポート事業を充実させ、子どもを預かってくれる人を増やす（現在、預かってくれる人が不足しており、マッチングが難しいという課題がある）。
  - ・幼稚園、小学校、保育園、老人ホームを一体化する（施設の運営や管理をコンパクト化する）。
4. 廃止する（した）保育園の活用方法を見直す必要があるのではないかな？
- ・民間活力の利用（導入）により、老朽化した保育園の土地の再利用、処分についての情報を市民に知らせることが必要である。
5. 待機児童や保育士不足の解消に向け、他市との協力を検討すべきではないかな？
- ・他市と協力し、待機児童を解消できないか検討する（君津市が市外の保育園も案内できるようにするのはどうか。）。
  - ・保育士を配置できるだけの保育園の数で良いのではないかな。
6. 保育園の個別計画に、住民はどのように関われるのかを市は分かりやすく説明する必要があるのではないかな？
- ・今後、計画を作っていく際に、今回の住民協議会の意見はどのように反映されるのか。
  - ・今後の計画に、「施設更新」や「公設」を行う際の基本的な考え方を決めておく必要がある。

## ◇B6\_子育て支援施設・放課後児童クラブ

プロジェクトメンバー及びオブザーバーが記入した評価シート集計結果は以下のとおりです。



また、自由記載欄に記入された意見は以下のとおりです。

1. 本当にサービスを利用したい人が利用できるよう「受益者負担」の見直しを検討すべきではないか？
2. 施設ありきではなく「必要な機能やサービスは何か」から考え、既存施設の活用方法の見直しや子育て事業の充実を図ることで、施設を減らすことを検討できないか？
3. 市民のニーズをしっかりと把握した上で、各地区の施設の配置や運営体制の見直しを行う必要があるのではないかな？
4. 空いている施設（空き教室や空いている貸館）を活用できないか？

1. 本当にサービスを利用したい人が利用できるよう「受益者負担」の見直しを検討すべきではないか？

（子育て支援センター）

- ・運営のための利用料を取ったほうがよいのではないかな。

（放課後児童クラブ）

- ・利用料が高く、本当に預けたい人が預けられていない状態は生まれていないかな。
- ・学校によって利用金額が違うのはおかしいと思う。

- ・所得による格差がないように利用料の補助を出すのはどうか。

## 2. 施設ありきではなく「必要な機能やサービスは何か」から考え、既存施設の活用方法の見直しや子育て事業の充実を図ることで、施設を減らすことを検討できないか？

### (子育て支援センター)

- ・子ども子育て相談や子育て方法の講習は、市の窓口や公民館でできないか。
- ・他部署と連携（保育所、病院など）し、事業内容を充実させることで、市が子育て支援センターをやらなくてもよくなるのではないか。
- ・山間部や郊外は、複合化が必要ではないか。

### (放課後児童クラブ)

- ・空き教室や体育館を利用するべきだと思う。
- ・昔は、公民館を自治会や老人会が運営しており、子どもを預かっていた。同じようなことができないか。

### (共通する意見)

- ・昔は自分たちでグループを作って、子育てをしていた。遊び場の情報誌を作っていた団体もあった。なんでも揃っているより、自分たちで作り上げる力をつけるという方向性もあっていいのでは？

## 3. 市民のニーズをしっかりと把握した上で、各地区の施設の配置や運営体制の見直しを行う必要があるのではないか？

### (子育て支援センター)

- ・子育て支援センターを活用できているのは、コミュニケーション能力が高い人だけではないか。本当に孤独感を感じている付き合い下手な人のチカラになれる事業であってほしい。
- ・子育て中に子育て支援センターを利用した。孤独感もなくなり、相談できる保育士さんがいて、利用しやすかった。コスト面に関しては正直どうしたらよいかわからないが、必要な場だと思う。
- ・利用する親は子どもの遊び場として考えているので、相談するところとは思っていないのではないか。遊んでいる子どもも少なく、寂しいのであまり行かない。若い母親の交流、意見交換の場にはなっていないと思う。
- ・一時もしくは、1時間でも預かってもらえると嬉しい。
- ・子育て世代は、交通手段を取りやすい世代だと思うので、子育て支援センターは地区ごとにまとめることはできると思う。

### (放課後児童クラブ)

- ・民営に任せっきりであり、地域に差が生まれている（料金や対応など）。改善が必要である。



- ・放課後児童クラブについて、プレハブ、余裕教室利用、民間の3種類で市の役割が違う。それぞれの役割を明確にし、君津市として学童クラブのあり方を議論する必要がある。
- ・児童クラブがない地域への手当てを考えてほしい。場所によっては公設、既存の場所への送迎に補助を出すなどケアが必要。
- ・学童保育は民間任せすぎる。現場の人は思いがあって頑張っているが大変。人を確保することに、きちんとお金を払う必要がないか。公的な支援も必要。

(共通する意見)

- ・放課後児童クラブ・子育て支援センター事業について、需要と供給のバランスを把握したうえで、今後、検討を行う必要がある。
- ・清和地区には、子育て支援センターや放課後児童がないので、対応できるようにしてほしい(例えば、市のスクールバスの利用など)。

#### 4. 空いている施設(空き教室や空いている貸館)を活用できないか?

(子育て支援センター)

- ・図書館の会議室の利用率が悪いところがあったので、その部分を子育て支援センターとしてリフォームし、活用できないか。
- ・図書館の会議室等を子育て支援の事務室、相談室にすれば、もっと多くの人の足が向くのではないか。また、学校や公民館、コミュニティセンターを利用したらどうか。

(放課後児童クラブ)

- ・以前、プレハブの放課後児童クラブを見た。とても狭そうで環境が悪そうだった。教室や体育館が空いていれば、活用してほしい。

(共通する意見)

- ・公民館等を利用してはどうか。